

令和2年度第4回地域活動サポートセンター運営委員会
会議録

1. 日 時 令和3年3月25日(木) 10時30分～11時30分

2. 場 所 古賀市地域活動サポートセンター

3. 出席者

(委 員) 三木貞会長、柳武繁行副会長、森本幸代委員、大須賀理恵子委員、
山田小織委員、真鍋憲司委員、坂本直大委員、結城俊子委員、
玖島昭二郎委員

※欠席…青柳清隆委員

(事務局) 介護支援課 課長：星野美香

介護予防係 係長：岩熊和洋、梅谷佐和子、大嶋真貴、谷口治、
三原紀子、大山由紀子

予防健診課 健康づくり係 係長：吉田直美

社会福祉協議会 船越郷子

古賀市地域活動サポートセンター条例施行規則第16条第2項の規定により委員定数10名のうち過半数の出席があり、会議は成立。

(傍聴者 なし)

4. 議 事

(1) 本年度の主な取組

- ・鍵盤ハーモニカ等介護予防活動の効果の検証
- ・地域支え合いネットワーク全体会(8小学校区)の概要

(2) 令和3年度から令和5年度に係る主な事業

- ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施(新規)
- ・生活支援サポーター養成講座(新規)
- ・外出促進事業(拡充)

(3) その他

5. 資 料

【資料1】鍵盤ハーモニカ等介護予防活動の効果の検証

【資料2】令和3年度 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施(新規事業)

【資料3】生活支援サポーター養成講座(新規事業)

【資料4】令和3年度 外出促進事業(拡充する事業)

【その他の資料】

- ・ 4月からサンコスモ古賀が変わります！（広報こが4月号より抜粋）
- ・ 古賀市地域包括支援センターの体制について
- ・ 「ふくおか健康ポイントアプリ」チラシ

6. 会議内容

(1) 開会

(2) 市あいさつ（介護支援課長）

(3) 会長あいさつ

(4) 本年度の主な取組

- ① 鍵盤ハーモニカ等介護予防活動の効果の検証 資料1
- ② 地域支え合いネットワーク全体会（8小学校区）の概要

【質疑なし】

(5) 令和3年度から令和5年度に係る主な事業

- ① 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施（新規） 資料2

【概要】 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施は、現在3課で役割分担をする大きな事業。ゆいが担うのは、地域の公民館等のつどいの場における体力・口腔機能の測定及び高齢者の質問票を実施し、その結果を、蓄積していく。

【質疑】

(委員) 資料2の事業概要に、「医療・介護等の情報」と「生活習慣や認知症等に関する質問票や体力・口腔機能測定を実施したデータ」に基づき、専門職が測定等の評価の説明と併せて保健指導を行うとあるが、介護に関する情報を多く持っているケア・マネジャーからの情報提供を受けるのか。

(事務局) 医療と介護等の情報とは、国保データベース、通称KDBシステムと呼んでいるシステムで把握できる医療レセプト情報や介護保険の認定情報等のことです。KDBシステムで得られた情報と、地域のつどいの場等の対面でしか得られない一人一人の生活習慣や相談者の有無、食生活等の情報を総合して別部署の保健師が分析し助言や指導といったアプローチを行います。ゆいでは生活習慣や体力測定等の把握を行っていきたいと考えている。

(委員) 介護施設等から何かデータを提供するという事はないのですね。

(事務局) ありません。

② 生活支援サポーター養成講座（新規） 資料3

【概要】 第8期介護保険事業計画に介護人材不足へのり込むように国からの通知及び、介護予防・生活ニーズ日常生活圏域調査の結果に基づく、高齢者の在宅生活支援のために、令和3年度に生活支援サポーターを、介護予防サポーターの活動の一つとして養成する。3年度に養成とニーズの把握を行い、4年度から活動を行う。

【質疑】

(委員) 高齢者施設や地域等において配膳、外出補助、買物等の支援を行う人材が不足している現状を受け生活支援サポーターを養成するとあるが、運転も行うのか。

(事務局) 生活支援サポーターの具体的な活動内容は令和3年度の生活支援サポーター養成講座の開始までに決定したい。ボランティア活動なので、事業開始当初から難しい支援は想定していない。

(委員) 買物等の支援についてはどこの福祉会や自治会でも課題になっていると思うので、そこに行政が関わってもらえることは助かるので、期待している。

(委員) 新宮など、(ボランティアが) 運転も行っている自治体もある。

(委員) 事故の問題を(地域だけでは) どうクリアするかなかなか話合いがつかない。やってあげたいんだけどというところで止まっているところも多いと思う。

(事務局) 最初のうちは、高齢者施設等で介護ではない支援、例えば、施設の利用者が外出する際の見守りや手を添えたり、職員の見守りが手薄になる時間帯に話し相手をする程度の支援を考えている。現在のサポーター活動の延長として施設の中でプロの介護職員の手助けになればと考えている。最初から家の中に入っていきような支援は抵抗があると思うので、専門家のアドバイスをいただきながら徐々に進めていきたい。

③ 外出促進事業（拡充） 資料4

【概要】 令和3年度から、ふくおか健康づくり県民運動（ふくおか健康ポイントアプリ）に参加する。歩く、食べるといった日々の活動にポイントが付くことで、高齢者の健康意識を向上させる。市のデジタル化推進を受け、シールを集めて参加する方式は徐々に見直していきたい。

【質疑】

(委員) スマートフォンも普及してきているので、デジタル化の推進はこれから進めるべき大きな課題だと思う。資料4に、県から古賀市に提供される情報を活用し、効果的な介護予防につなげるとあるが、個人情報などがど

これまで市に提供されるのか、また、アプリの登録者にはそのことをどのように把握できるようになっているのか、情報の取扱いについて分かっていることがあれば教えて欲しい。

(事務局) 「ふくおか健康ポイントアプリ」の利用に関する福岡県の実施要綱に、資料に記載している個人情報をアプリを利用する市町村に提供すると明記されている。アプリ登録者への同意の取り方に関しては確認してお伝えしたい。

(委員) 集会所や公民館を市とオンラインでつないでくれたら本当に助かる。出前講座を公民館で受講することができるように、市に要望している。

(事務局) デジタル推進課ができることにより、整備されていくものと、期待している。

(6) 報告事項

- 令和3年度の組織体制について

(7) その他

- 次回開催は令和3年6月予定

(8) 閉会あいさつ (介護予防係長)